

中津市民病院化学療法レジメン

【レジメンNo】GI-29

申請日	2020/10/27	承認日	2020/11/9	委員長	永松 敏子	印
レジメン登録	2020/11/9	仮承認日		承認者		印

Ramucirumab	病名	肝細胞癌	消化器内科	医師名	梅野 Dr
対象	がん化学療法後に増悪した血清AFP値が400ng/mL以上の切除不能な肝細胞癌(Child-Pugh分類A)				

薬剤商品名 (一般名)	投与量 (mg/m ² 等)	投与方法 (div,iv,po等)	投与スケジュール(日)														
			1	3	5	8	10	15	20	25	30						
サイラムザ(ラムシルマブ)	8mg/kg	div	○														
投与間隔・休薬期間等: 14日=1コース																	

【投与処方例(前投薬など)】※0.22ミクロン以下の蛋白透過型フィルター使用

*サイラムザ投与中は、タンパク尿・血圧測定を実施。

尿タンパク 開始後の基準は、3+は中止。2+の場合、1日尿蛋白2g以下に低下するまで休薬し再開。

24時間蓄尿が望ましいが、尿中タンパク/クレアチニン比を測定して判断してもよい。

初回発現時の再開基準:6mg/kgに減量。

2回目以降発現時の再開基準:5mg/kgに減量。

3回目以降発現時は中止を行うこと。

- ① メインキープ【緑】生理食塩液250mL /div
- ② メイン【赤】生理食塩液250mL+サイラムザ /div 1時間

③ 終了後、メインの生理食塩液を流す。

制吐剤セット処方⑧

Day1 レスタミンコーワ錠(10) 5錠(治療の30分前)

参考文献：サイラムザ 適正使用ガイド

当院患者治療目的以外は
使用不可